

植物成長調整剤

カルビー® 粉粒剤 16

(過酸化カルシウム粉粒剤)

®：登録商標

水稻直播栽培の出芽苗立安定に！



適用範囲と使用方法

(平成21年3月現在の登録内容)

作物名	使用目的	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	過酸化カルシウムを含む農薬の総使用回数
乾田直播 水 稲	発芽率の向上 苗立歩合の安定	は種前 浸種後	乾燥種籾重量 の等倍量	1回	湿粉衣 (地上播種用、 空中散播及び 無人ヘリコプターに よる散播用)	北海道	1回
湛水直播 水 稲			乾燥種籾重量の 等倍～2倍量			北海道を 除く全域	



保土谷UPL株式会社



植物成長調整剤

カルパー® 粉粒剤 16

成分 過酸化カルシウム……………16.0%
 鉱物質等……………84.0%
 性状 類白色微粒及び粗粉 45~150 μm
 荷姿 3kg×8袋

水稻湛水直播栽培のポイント

1 種初の準備

- ゆっくり吸水・催芽させ、鳩胸程度で止める。



催芽初



カルパーコーティング粉

2 コーティング

- 「酸素発生剤コーティングのポイント」(水稻直播研究会発行:問合先 水稻直播研究会事務局 03-6379-4534)を参考に実施。
 - 1粒1粒硬く締まったコーティング種子に仕上げる。
 - 20分程度ゴザの上で陰干した後、網袋に入れ風通しのよい部屋で床面から離して保管する。
- ※殺虫剤アトマイヤー水和剤や殺菌剤タチガレース粉剤を同時コーティングする場合はコーティングの途中で入れる。



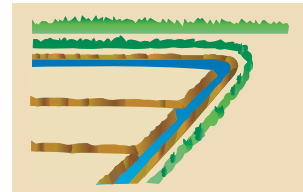
自動コーティング機



手動コーティング機(左:10kg、右:30kgマシーン)

3 圃場の準備

- 入排水の整備された、高低差の少ない圃場を選ぶ。
- 前年に雑草多発の圃場は避ける。
- 圃場の均平化が重要なポイント。
- 田面の高低差は、3cm以内を目安とする。
- 代かき・均平作業は、播種予定日の1~2日前に行う。
- 水の駆け引きを容易にするため、圃場周辺部に溝を切る。
- 田面の硬さは、移植なみかやや軟らかい方がよい。



圃場の溝切り

4 播種作業(点播、条播)

- 利用する播種機の特徴と機能に留意。
- 播種時期は、苗立率が安定して70%以上得られる時期。
- 播種量は、乾粉で2~4kg/10a。
- 目標苗立数は、1m当たり20~30本(60~80本/m)。

- 播種深度の目安は、1.0~1.5cm程度。
- 播種時の水深は、ひたひた水程度。
- 播種速度は、利用機種種の指示速度に従う。

5 播種後の水管理

- 落水出芽法を基本とする。
- 播種直後から5~10日間、完全に落水する。
- 落水を完全に行うため、圃場周辺部及び圃場内に溝を切る。
- 初期生育が不十分な場合には、4~5葉期にも落水する。



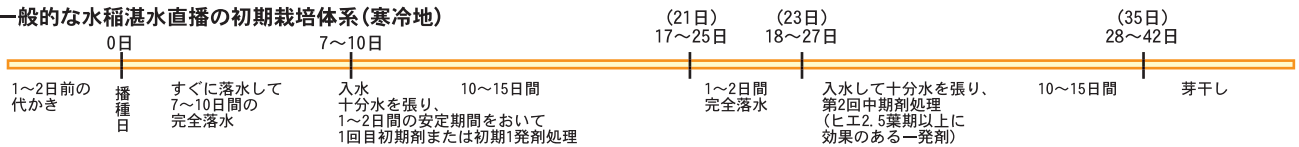
落水状態

6 除草剤散布

- 移植栽培より処理適期幅が狭く、よりの確な処理が求められる。
- 直播栽培では、稲より雑草の生育ステージの方が先行する。
- 処理適期のタイミングを逃さないよう、早めの処理を心がける。

- 落水出芽をした場合の除草剤体系処理例
 落水出芽終了⇒入水(十分入れる)⇒1回目除草剤(初期一発剤)⇒10~15日間湛水状態⇒落水芽干し(1~2日間)⇒入水後2回目除草剤処理(雑草の種類に応じた一発剤:ヒエ2.5葉期以上対応剤)

■一般的な水稻湛水直播の初期栽培体系(寒冷地)



※播種日から日数をおって、処理タイミングをとる。毎年、播種時から1ヶ月の気温の変化が水稻の出芽苗立ちとヒエの生長に影響しますので、注意深く管理することがコツです。

効果・被害等の注意(抜粋)

■本剤は水分を吸収すると固化して使用できなくなるので、開封後は使い残しのないようにする。
 ■粉衣に際しては下記の事項に注意する。
 ●回転式粉衣処理は攪拌が容易で、薬剤および水の投与が簡単な容器で行う。
 ●本剤が種衣に付着し、余分な本剤がとびはじめたら噴霧器等で水の噴霧を開始する。水は連続で噴霧しながら、本剤を少量ずつ投入する。粉衣状態を見ながら投入をくりかえす。本剤所定量の少量を残した時点で水の噴霧を止める。水の噴霧を止めた後、この少量残した本剤を投入し3分間攪拌を続ける。

●粉衣処理の際浸漬した種衣の水切りが不十分であったり、一時に水を多量に噴霧すると本剤を投入した時に薬剤や種衣が団子状になり、均一な粉衣ができなくなるので注意する。
 ●本剤を粉衣した種衣を30分程度ゴザ等にひろげ、陰干しをして薬剤が固まってから網袋に入れる。当日播種できない場合は、風通しがよく雨水がからない場所にスノコ等の上にもれないように保存する。また、乾燥しすぎると粉衣の破損が大きくなるので早めに播種する。
 ●使用後の容器などはそのまま放置すると、均一な粉衣ができなくなるので充分清掃しておく。
 ■本剤を粉衣した種衣を湛水直播水稻栽培で使用する場合は下記の事項に注意する。

●播種する時は、植代かき後の水の濁っている時、または植代かき後土壌表面が柔らかいうちに、粉衣した種衣が土中に埋没するように播種する。
 ●本剤を乾燥種衣重量の等倍から2倍量未満で使用する場合には落水出芽法を併用し、発芽苗立を促進するために播種直後から出芽始めまでの間落水し、田を乾かす。北海道を除く全域において本剤を乾燥種衣重量の2倍量で使用する場合には必ずしも落水出芽法と併用する必要はない。
 ●本剤を2倍量より少ない量で粉衣処理した場合、特に播種機を利用する播種では想定した播種量より繰出し量が多くなるので播種開始前に播種量を調整する。
 ■本剤を北海道において乾田直播早期湛水栽培で使用する場合には、北海道の水稲乾田播種早期湛水栽培暫定基準に従う。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載内容以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 使用後の空袋は圃場等に放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。
- 防除日誌を記帳しましょう。

販売元

保土谷UPL株式会社

〒103-0027 東京都中央区日本橋三丁目14番5号

TEL:03-6225-3191 FAX:03-6225-3197

http://www.hodogaya-upl.com/